

買い手市場から売り手市場へ

8月30日(水)山形市国際交流プラザにおいて「いきいき企業出会う場就職面接会」が開催された。

雇用・能力開発機構山形センター、山形労働局、山形県、村山地区のハローワークや山形県若者就職支援センター等が毎年開いているもので、今年は、好調な有効求人倍率を背景に130の企業ブースが設けられた。技術系を中心に買い手市場から売り手市場へシフト進んでおり、求職者は仕事の内容を担当者と熱心に話していた。また、創業支援、若者就職支援、能力開発支援等各相談コーナーも開設され多くの人を訪れていた。



仕事と家庭の両立を目指して!

9月7日(木)山形市「オーヌマホテル」において、がんばる人材活用推進協議会が開催された。

はじめに、株式会社タケカワ経営事務所所長竹川敏雄氏より「仕事と家庭の両立を目指して」題して説明があった。「次世代育成支援対策推進法」は、国・地方公共団体、企業が一体となって少子化の流れを変えるため平成15年7月に10年間時限立法として成立。労働者を雇用する事業主は、労働者が仕事と家庭の両立させることが出来るよう「一般事業主行動計画」を策定し労働局に提出しなければならないとの説明があった。引き続き、山形労働局雇用均等室升川禎子氏より、「一般事業主行動計画」届出状況について説明があり、届出義務企業の98.9%が届出でている都の説明があった。また、「仕事」と「家庭」の両立させる支援事業について、財団法人21世紀職業財団山形事務所小松和子氏より説明があった。

本年度のマニュアル策定業種を電子部品製造業の総務・経理部門、製造部門と印刷業の企画部門にすることが報告された。

